

# 平成22年度 医療安全管理の取組について【概要】

## － 医療事故・医療安全の取組の報告 －

### 【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成22年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表いたします。

#### 1 平成22年度中に発生した医療事故の一括公表事案の件数

	20年度	21年度	22年度	対前年度 増 減
市民病院	0件	1件	0件	△1件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	0件	1件	0件	△1件

#### 2 主な医療安全の取組について

##### (1) 市民病院

###### ① 患者さんの医療参加

患者さんと医療者が治療目標を共有し、患者さんの医療参加を促進することを目的に、「患者参加型カンファレンス」を初めての試みとして実施しました。

###### ② 部門を超えたスタッフ間の連携の促進

多部門、多職種からなるワーキンググループ活動として、医師からの指示出しに関する課題や、生体監視装置の運用上の課題を整理しました。

###### ③ 診療システムや施設・設備面の改善・整備

アレルギー食材の誤提供を防ぐために、診療システム画面を改良しました。また、新生児無呼吸センサーの導入や、電気機器の安全使用について院内巡視による点検を行いました。

##### (2) 脳血管医療センター

###### ① 緊急時対応の取組の充実

救急サポートチームを中心に、気管挿管防止マニュアルを作成し、挿管防止に必要な診療器材を救急カートや救急外来へ整備するとともに、医師への緊急気道確保の実技研修を行いました。

###### ② 医療安全研修の開催方法の工夫

研修の効果を向上させることを目的に、ロールプレイやグループワークを取入れた参加型研修を開催するとともに、研修終了時にミニテストやミニレポートによる理解度チェックを行いました。

#### 3 インシデント報告件数

	20年度	21年度	22年度	対前年度 増 減
市民病院	2,635件	2,434件	2,976件	542件
脳血管医療センター	1,635件	1,465件	1,327件	△138件
計	4,270件	3,899件	4,303件	404件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント： 医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。